

国保会計4億円のため込み

市民の福祉・教育充実を求めました

8月29日から9月26日まで定例会議が開催されました。平成29年度決算や今年度補正予算及び条例が審議されました。共産党市議団は、国保・後期高齢者・介護保険決算については問題点を指摘し反対。その他26議案に賛成しました。また、「西日本豪雨の教訓から災害に備えるための整備を求める意見書」など市民の願いを意見書にまとめ3本提案しました。

29年度決算 剰余金2億1500万円 一人1万円の引き下げは可能です

平成29年度国保会計は、国保の剰余金が2億1500万円となり、その内1億800万円を基金に積み立て、30年度末で4億円になります。国保制度は、30年度から県に移行するため、医療費の支払いのために、多額の基金は必要ありません。そもそも、野洲市の国保税は県下の市町でも高いものになっています。国保税は均等割があり、家族が増えれば保険税が上がる仕組みであり、他

の自治体では、均等割を3割減免や、第3子の均等割を免除しているところもあり、野洲市でも国保税を引き下げたために基金を使うべきと求めました。しかし、市は「今後、県への納付金の動向もあり、基金残高は慎重に見極めたい」と答弁し、国保税の引き下げのために使うことを拒否しました。今後市議団として引き下げを求め続けます。



野洲市民病院

市立病院移行関連議案を可決

8月議会では、野洲市民病院事業会計の補正予算と前年度決算、また、現野洲病院を市立病院に移行するために、病院職員の給与や定年に関する条例の制定・改正議案が提案されました。これらの議案は、賛成多数で可決（反対は稲垣、立入、荒川議員）されました。なお、市民病院は来年7月に市立病院として移行し、2020年4月に新病院がスタートします。

野洲養護学校視察

開校時から2倍の児童・生徒のマンモス化



野洲養護学校(9月14日)

共産党野洲市議団は、山下参院議員・清水前衆院議員と県議、他市の議員らと9月14日、生徒数が371人にもなるマンモス化した野洲養護学校を視察しました。校舎増築で161mを超えた廊下を歩き、学校長からの説明を受けながら、各教室を見て回りましたが、児童・生徒増に伴う新設校設置が必要であることを実感しました。

保護者との懇談会では「医療支援が必要で、親が送迎していて大変。しかし、子どもは学校が好きで、笑顔を見ると何となく登校させてあげたい」と切実な声。又参加者からは「養護学校の新設が必要」などの声も上がりました。山下議員は「どんな障がいがある子どもたちにも、発達する権利がある。それを保障するのが社会の役割。政治の課題として取り組んで行く」と激励しました。

「豪雨災害に対策を求める意見書」など3本を提案しました

日本共産党野洲市議団は8月議会で防災と暮らしにかかわる3本の意見書を提案しました。しかし意見書は否決。市民の願いを届けるのが議員の責務ではないでしょうか。

■西日本豪雨の教訓から災害に備えるための整備を求める意見書

未曾有の災害をもたらした7月の西日本豪雨。共産党市議団が提案した意見書は、国に対して、「防災に必要な予算の拡充、計画的な河川の浚渫や樹木伐採、急傾斜地崩壊対策」などを求めたものです。野洲市議会では否決ですが、甲賀市議会では同趣旨の意見書が全会派・全議員の賛成で可決されています。

■学校給食並びに全ての乳幼児及び幼児の幼児教育に係る費用の無償化を求める意見書

全国に広がる学校給食の無償化を国として実施を。また、来年10月から非課税世帯や3歳以上の保育料の無償化が検討されていますが、すべての乳幼児の無償化を求めたものです。

■水道事業の民営化・広域化を進める水道法改正に反対を求める意見書

民営化された海外例では、企業利益が優先され水道料金が2.25倍に大幅引き上げ。市民から大きな批判が高まり、一度は民営化したものの再度公営化。料金が引き下げられました。

市政・市議会へのご意見・ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索

